



1-2 旅館江戸屋敷地内の「杉の井」の湧水。ひんやりと喉をうるおしてくれました。



3.宮脇駅からケーブルカーで山頂付近へ。4.男体山山頂を目指して山道を登ります。5.山頂へ到着!ふもとより気温が10度近く低いので、登山でかいた汗がすっとひいていきます。

筑波山ケーブルカー

☎029-866-0611 (ケーブルカー宮脇駅)

営業時間/9:00~17:20※月ごとに変動しますのでHPをご参照ください

休業日/年中無休(検査時を除く)

料金(片道)/大人570円・小児290円

<http://www.mt-tsukuba.com>

## 「おもてなし」の素顔

### 創業380年、おもてなしの心に工夫を凝らして現代へ。

旧玉里村(現・小美玉市)の生まれで、子どもの頃から霞ヶ浦の向こうにそびえる筑波山を眺めて育ちました。玉里村から見る筑波山が一番美しいと言われているのです。そんな私が、筑波山を参詣する人々のために創業した長い歴史のある旅館の女将を務めさせていただいているというのも、なにかの縁を感じます。こちらへ嫁いできてから40年が経ちましたが、思うことはいつも「どうすればお客様に喜んでいただけるか」ということに尽きます。お客様は、ご夫婦やご家族連れなどさまざまで、赤ちゃんやお年寄り、お体の不自由な方などもいらっしゃいます。お迎えしたときには必ず、どのようなお客様なのかを確認して、ご滞在中のおもてなしの中に生かすようにしています。平



女将・吉岡 鞠子さん  
【筑波山 江戸屋】

旧玉里村の実家も旅館業。筑波山の老舗旅館に嫁いで40年。「いばらき女将の会」では会長を務め、県内の旅館の女将さんたちからも絶大な信頼が寄せられている。

成18年に館内のリニューアルをした際に、あえて入り口で靴を脱いでお上がりいただく造りにし、フロントカウンターも座ってチェックインの手続きをさせていただける高さにしました。靴を脱いでいただくことで、お客様は「宿に着いた」という寛いだ気分になっていただけるのではないかと思います。

この仕事は、お客様のいろいろな人生の節目に立ち会わせていただくことが多く、たとえばお祝いごとでご利用いただく方には、ささやかな贈り物や色紙にメッセージを書いてお届けしています。また、病気で近く入院なさるといの方が、ご家族とともに思い出になる時間をお過ごしいただくためにご宿泊くださったということもありました。その時は、良いひとときを過ごしていただきたいという想いでご対応させていただき、従業員みんなで、一日も早いご回復とご健康をお祈りする気持ちを寄せ書きにしてお渡しいたしました。後日、そのご家族から「心遣いをありがとうございます」というお手紙をいただきましたが、折に触れて「あのお客様はお元気で過ごしたろうか」と思い出されます。

また、従業員が楽しく、いきいきと仕事ができないと良いおもてなしをすることはできません。みんなが自分の個性や興味のある得意分野を仕事の中で発揮できるよう配慮することも、とても大事なことです。お客様を大事に思うと同時に、従業員一人ひとりに心を寄せるのも女将の役割なのではないかと思っています。